

ずっと環境。  
変わらないから新しい。



鉄は何度も再生できます。肥料は知恵の結晶です。緑は暮らしをやさしくします。  
地球で生まれたものは、地球にかえす。  
私たちの理念は、循環社会の実現。  
エコロジーやリサイクルが注目される前から環境をみつめてきました。

**私たちは朝日工業です。**

**コーポレートマークは**

鉄鋼建設資材事業(燃え上がる溶鋼の赤)、農業資材事業(鮮やかな植物の緑)、環境サービス事業(美しい空、水の青)の各事業が、朝日の“A”の文字を中心に、互いに連携し支えあう姿勢を表しています。  
また3つの色は、“太陽”“緑”“地球”でもあり、当社の環境重視の姿勢を示しています。

**Web Information**

当社のホームページは「みやすく、役に立つ」をコンセプトに、企業情報や財務情報を始めとし、積極的に情報開示を行っています。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

URL <http://www.asahi-kg.co.jp>



**朝日工業株式会社**

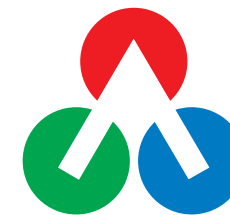
〒170-6049 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 49階  
TEL 03-3987-2161 FAX 03-3987-5326



本書は、再生紙を使用しております。



ずっと環境。変わらないから新しい。



**第18期第2四半期  
累計期間のご報告**

2008年4月1日～2008年9月30日

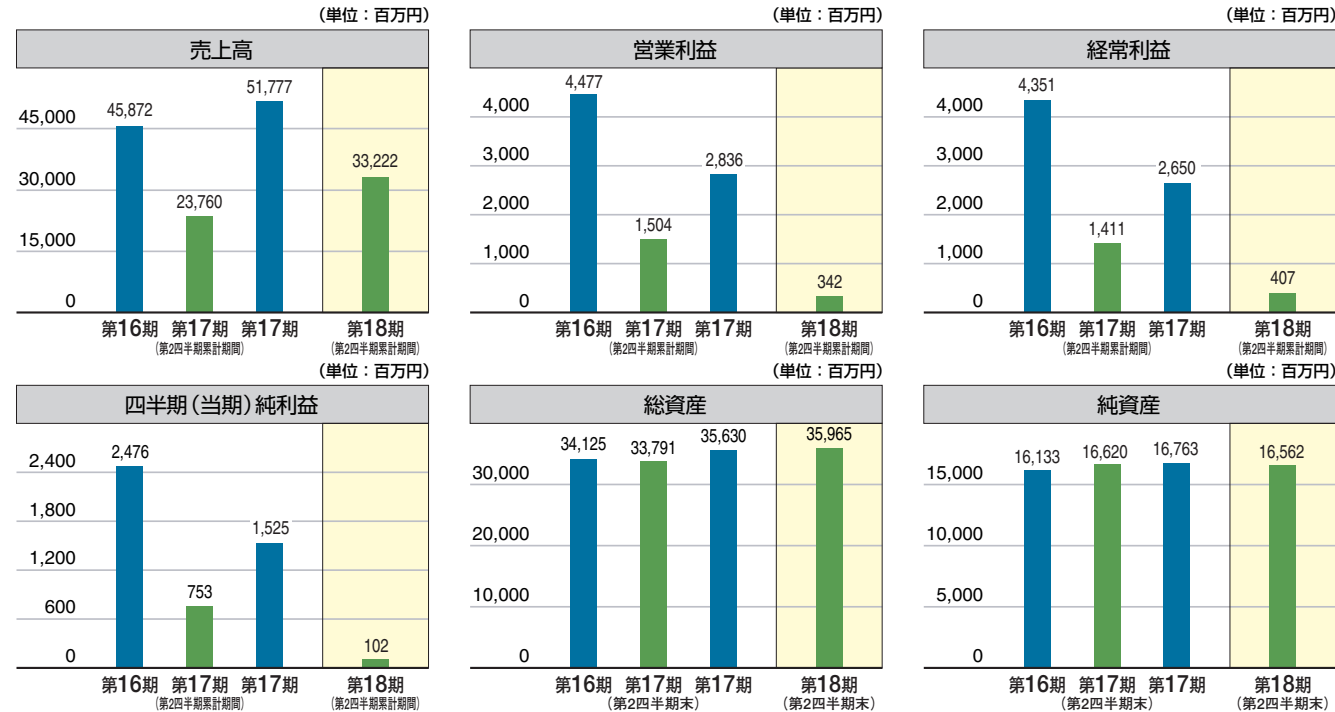


**朝日工業株式会社**

営業成績および財産の状況の推移（連結）

	第16期 (2007年3月期)	第17期 (第2四半期累計期間)	第17期 (2008年3月期)	第18期 (第2四半期累計期間)
	連結	連結	連結	連結
売上高 (百万円)	45,872	23,760	51,777	33,222
営業利益 (百万円)	4,477	1,504	2,836	342
経常利益 (百万円)	4,351	1,411	2,650	407
四半期(当期)純利益 (百万円)	2,476	753	1,525	102
総資産 (百万円)	34,125	33,791	35,630	35,965
純資産 (百万円)	16,133	16,620	16,763	16,562
自己資本比率 (%)	47.3	49.2	47.0	46.1
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	34,396.09	10,470.66	21,288.49	1,455.56
1株当たり純資産額 (円)	224,074.59	230,844.75	238,125.08	236,602.17

■ 連結 ■ 連結(第2四半期累計期間)



ごあいさつ

株主・投資家のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
 当社の事業活動に関しましては、平素より一方ならぬご支援とご配慮を賜り、深く感謝いたしております。  
 ここに第18期第2四半期累計期間のご報告をするに当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

鉄鋼建設資材事業

改正建築基準法の影響から徐々に回復し、鉄筋を中心に販売数量が増加しました。鉄スクラップ価格は、未曾有の高騰から7月中旬以降には値下げに転じ、9月中旬以降は再び上昇しました。副原料資材価格は引き続き高値で推移しました。このような環境の中当社は、原材料価格の高騰に対応すべく製品価格の値上げを進めた結果、増収となりましたが、鉄スクラップ価格高騰の影響が大きく減益となりました。

農業資材事業

肥料事業においては、原料価格高騰を受けて7月から製品価格が大幅値上げとなりました。この値上げを抑えた繰り上げ注文が発生したこともあり、有機肥料を中心に製品販売数量が拡大するとともに、OEM品の数量も増加いたしました。園芸事業においても製品価格の値上げを進めるとともに、新製品の販売拡大を含めホームセンターへの販売数量が増加しております。種苗事業では、ハウレンソウ、レタスの販売数量が増加するとともに、黄化葉巻病に耐病性を持つ大玉トマトを新たに発売いたしました。

環境サービス事業

環境計量証明・コンサルタント事業を行っております株式会社環境科学コーポレーションにおいては、水質や大気関連業務は増加しましたが、建築需要の低下にともない土壌関連業務が減少いたしました。また、廃棄物処理・リサイクル事業を行っております上武エコ・クリーン株式会社においては、木くずチップのパルプ原料用、バイオマス発電燃料用の出荷が増加いたしました。

その他事業

砕石・砕砂事業を行っております上武産業株式会社においては、公共工事や民間建築需要が減少している中、需要家のニーズに応じたきめ細かい製品の生産・販売を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は33,222百万円、営業利益342百万円、経常利益407百万円、四半期純利益102百万円となりました。

セグメント別の  
通期業績予想について

鉄鋼建設資材事業

建設需要や鉄スクラップ価格などの動向に不透明感が払拭できない状況下において、需要に見合った製品販売を進めるとともに、コストダウンを強力に推進してまいります。

農業資材事業

肥料事業においては、食の安全・安心への希求の増大を背景として、有機肥料の販売拡大を進めてまいります。園芸事業においても、家庭園芸向け有機肥料を中心に販売を拡大してまいります。種苗事業においては、7月に発売した黄化葉巻病に耐病性を持つ大玉トマトの販売拡大に注力してまいります。

環境サービス事業

環境計量証明・コンサルタント事業を行っております株式会社環境科学コーポレーションにおいては、水質・底質分析に加えて微量分析の分野に注力してまいります。廃棄物・リサイクル事業を行っております上武エコ・クリーン株式会社につきましては、木くずの廃棄物収集拡大とリサイクルを進めてまいります。

その他事業

砕石・砕砂事業を行っております上武産業株式会社においては、建築需要が低下する状況下で、引き続き需要家のニーズに応じたきめ細かい製品の生産・販売を進めてまいります。

その結果、通期連結業績予想につきましては、売上高61,000百万円、営業利益3,700百万円、経常利益3,700百万円、当期純利益2,000百万円と予想しております。

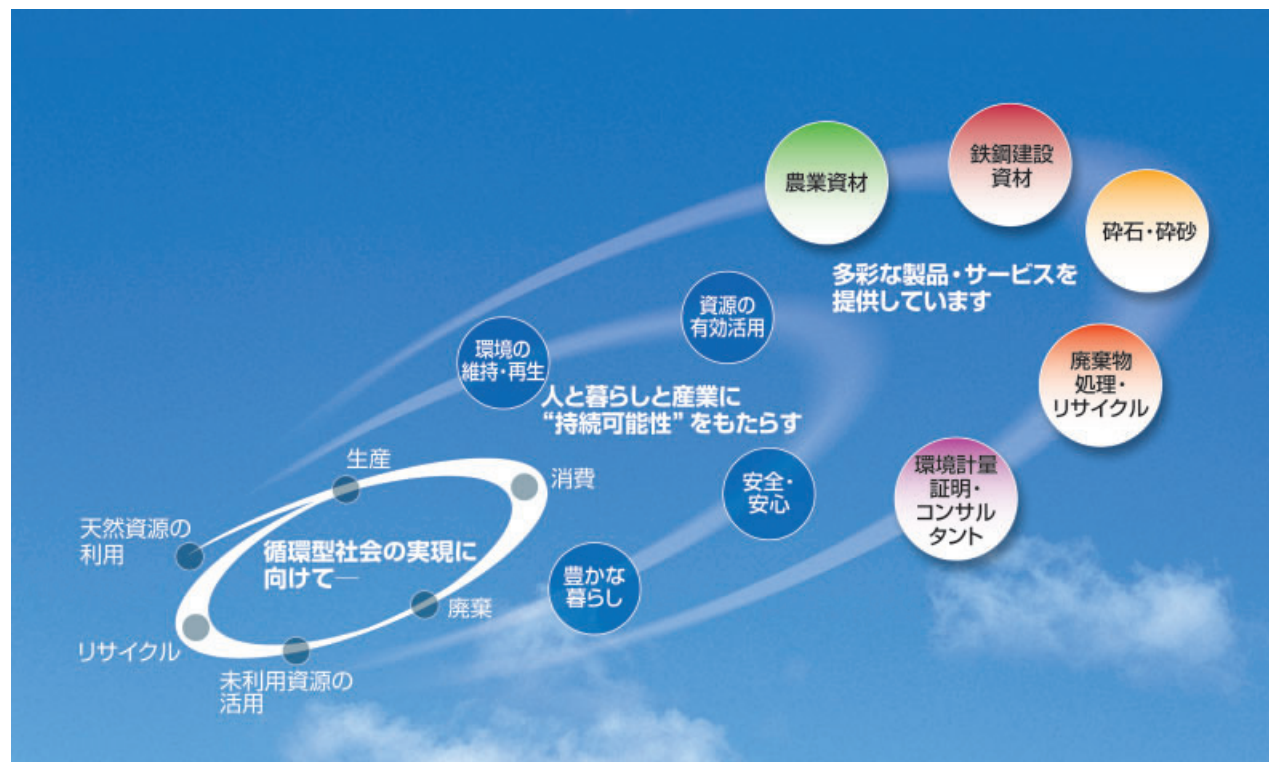
以上のような施策を実施すると同時に、当社は、環境・社会・株主のみなさまに対して、気配りのある経営を行い、先進的環境企業として、みなさまから一層の信頼を得られますよう体質強化を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長 赤松清茂

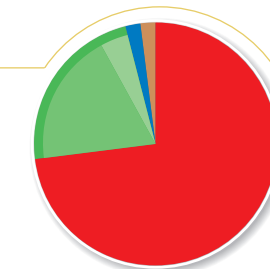
# “環境”をテーマに、“気配り”の経営を目指します。



朝日工業グループでは、「環境」を理念に、鉄鋼建設資材、農業資材、環境サービス、その他の4つの事業を展開しています。「資源の循環」と「環境の維持再生」をテーマにグループ全体での事業の拡大を目指しています。

## 事業セグメント別売上高

鉄鋼建設資材事業	73%	環境サービス事業	2%
農業資材事業	23%	その他事業	2%
肥料事業	19%		
園芸事業	4%		
種苗事業	4%		
乾牧草事業			



## 鉄鋼建設資材事業

鉄スクラップを鉄鋼製品へと再生する鉄鋼建設資材事業では、本年4月より一部製品の輸送をモーダルシフトしました。モーダルシフトとは、トラックによる幹線貨物輸送を、地球に優しく、大量輸送が可能な鉄道などの輸送に転換することをいいます。モーダルシフトは、CO2排出量の抑制やエネルギー消費効率の向上による省エネ効果、大気汚染や酸性雨の削減など、環境の保全に有力な手段として注目されています。



コンテナへの積み込み

## 農業資材事業

### 肥料事業



オールアッシュ

有機肥料を中心に肥料の製造・販売を行っている肥料事業では、未利用資源を活用した肥料原料を開発し販売を始めました。

この肥料原料は、鶏糞などの燃焼灰を当社独自の製法で粒状にしたもので、「オールアッシュ」という商品名で販売され、配合肥料などの原料として使用されています。

世界的に穀物増産などによる肥料需要の増加が懸念される中、「オールアッシュ」は、低コストのリン酸原料、加里原料として、配合肥料メーカーなどで好評を博しております。

“食の安全・安心”に対応した有機肥料や病気に強い野菜種子。生活のインフラを構築する鉄鋼製品や砕石・砕砂。生活に潤いを与える家庭園芸肥料。そして大気や水質などの環境分析や、建設廃材のリサイクル。

朝日工業グループの事業は私たちの生活を支えると同時に、環境の維持・改善に貢献しています。

また当社グループは、社会、環境、株主様をはじめとした多くの皆様に対して、“気配り”した経営を実践してまいります。

## 園芸事業

家庭園芸向けに有機肥料や園芸用品を販売する園芸事業では、“Family Gardenシリーズ”を新たに発売し、ホームセンターや園芸専門店などで販売を始めました。

“Family Gardenシリーズ”は、トマトの肥料200g、きゅうりの肥料200g、なすの肥料200gの3アイテムです。有機成分をたっぷり含み、安全・安心でおいしい野菜が育てられ、ワンコイン（100円）で買えるという商品です。

パッケージには、栽培のポイントや与える肥料の量がわかりやすく記載されており、初めて野菜作りにチャレンジするという方々にも好評です。



Family Gardenシリーズ

## 種苗事業

安全・安心でおいしい野菜種子の生産・販売を行っている種苗事業では、7月に大玉トマト新品種「TY-10」「TY-12」を発売しました。黄化葉巻病に対して強い耐病性をもつ品種です。

トマト栽培の大敵である黄化葉巻病には、原因となるウイルスの型によって2つのタイプがあります。「TY-10」「TY-12」は、どちらのタイプにも強い耐病性を持っており、その結果、農薬使用量が減らせることから、食の安全・安心につながる新品種として大きな期待がよせられています。



大玉トマト新品種 (TY-10)

## 環境サービス事業

環境計量証明・コンサルタント事業を行っている株式会社環境科学コーポレーションでは、国土交通省の河川事務所とともに小中学生への環境啓蒙活動の一環として、河川調査のアドバイスを実施しました。このイベントは、群馬県の神流川、烏川で7月に計4回行われ、パネルを使って調査方法の説明や、水流の速さや水深、水質の簡易検査の他、網で水生生物を採取し分類を行いました。神流川、烏川は、水質が良好で、カゲロウやトビゲラなどの水生昆虫や、きれいな川に住む魚のカジカなど、普段あまり目にしない生き物が採取でき、子供たちが環境への関心を深めた活動となりました。



河川調査

## その他事業



納涼祭

碎石・砕砂事業を行っている上武産業株式会社では、地元地区と共催の納涼祭を8月に開催いたしました。今回の開催で16回目となり、地元住民のみならずには恒例の行事として大変喜ばれております。当日は天気も良く、地元太鼓愛好会の方々による秩父屋台囃子で始まり、カラオケ大会やマスのつかみ取りが行われ、模擬店では焼きそば、バーベキュー、長瀬町の天然氷を使ったカキ氷が振舞われました。上武産業株式会社では、来年も地元地区と一体となった行事を開催する計画です。

## 安全啓蒙活動の推進

朝日工業グループでは、今年も安全啓蒙活動の一環として安全に関する標語・ポスター・イラスト等の募集を行いました。この活動は安全に対する意識の高揚を図ることを目的としており、多数の応募の中から優秀な作品を選び、グループ内の各事業所に掲示しております。今後も、この活動を推進し安全に対する意識をさらに高めてまいります。



安全ポスター

## 第2回朝日工業グループフェアを開催

10月25日（土）に東京パレスホテルにおいて第2回朝日工業グループフェアを開催いたしました。

当日は、株主のみなさまをはじめ、650名のお客さまがご来場くださり、大変な盛況の内に幕を閉じることができました。

フェアでは、朝日工業グループの事業紹介の展示やDVDの放映、当社が種子を販売している野菜を使った料理の試食や、料理・寄せ植えなどの講演、代表取締役社長 赤松清茂の当社グループ紹介、当社が取り扱っている商品の即売会などを行いました。株主さまをはじめ、ご来場いただいた多くのお客さまから励ましのお言葉をいただきました。



第2回朝日工業グループフェア



四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科目	前第2四半期末 2007年 9月30日現在	当第2四半期末 2008年 9月30日現在	前期末 2008年 3月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	18,551,589	19,794,135	19,503,244
現金及び預金	2,343,008	3,253,777	2,534,823
受取手形及び売掛金	8,756,894	8,165,295	8,522,917
商品及び製品	5,642,290	5,523,604	6,255,289
原材料及び貯蔵品	1,370,405	2,349,226	1,644,005
その他	446,977	509,938	555,533
貸倒引当金	△ 7,987	△ 7,706	△ 9,325
固定資産	15,235,731	16,171,245	16,127,239
有形固定資産	12,509,368	13,841,406	13,514,617
建物及び構築物(純額)	2,991,248	3,064,855	3,100,953
機械装置及び運搬具(純額)	5,237,578	6,247,183	6,353,785
土地	2,618,220	2,595,481	2,594,926
その他(純額)	1,662,320	1,933,886	1,464,951
無形固定資産	487,325	487,338	492,242
のれん	76,880	51,253	64,067
その他	410,444	436,084	428,175
投資その他の資産	2,239,037	1,842,500	2,120,379
繰延資産	3,728	—	—
資産合計	33,791,048	35,965,380	35,630,484

(単位：千円)

科目	前第2四半期末 2007年 9月30日現在	当第2四半期末 2008年 9月30日現在	前期末 2008年 3月31日現在
<b>負債の部</b>			
流動負債	15,315,371	17,711,035	17,160,725
支払手形及び買掛金	7,882,853	9,173,095	9,179,621
短期借入金	1,670,000	4,500,000	2,750,000
1年以内返済予定の長期借入金	649,300	110,000	265,300
1年以内償還予定の社債	240,000	—	200,000
未払法人税等	621,627	147,068	495,312
賞与引当金	399,746	315,245	375,852
その他	3,851,844	3,465,625	3,894,639
固定負債	1,854,854	1,692,193	1,706,228
長期借入金	130,000	20,000	50,000
退職給付引当金	1,090,717	1,179,477	1,133,416
その他	634,137	492,716	522,812
負債合計	17,170,226	19,403,228	18,866,954
<b>純資産の部</b>			
株主資本	16,085,198	16,274,023	16,444,381
資本金	2,190,000	2,190,000	2,190,000
資本剰余金	1,802,000	1,802,000	1,802,000
利益剰余金	12,093,198	12,575,334	12,684,440
自己株式	—	△ 293,311	△ 232,059
評価・換算差額等	535,622	288,128	319,148
その他有価証券評価差額金	438,384	198,238	233,785
為替換算調整勘定	97,238	89,890	85,362
純資産合計	16,620,821	16,562,152	16,763,529
負債純資産合計	33,791,048	35,965,380	35,630,484

第2四半期連結累計期間損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	前第2四半期 累計期間 2007年4月1日から 2007年9月30日まで	当第2四半期 累計期間 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	前期 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
売上高	23,760,676	33,222,261	51,777,203
売上原価	18,890,983	29,254,481	41,958,364
売上総利益	4,869,693	3,967,780	9,818,839
販売費及び一般管理費	3,365,360	3,625,521	6,981,851
営業利益	1,504,332	342,258	2,836,987
営業外収益	44,076	214,910	96,478
営業外費用	137,267	149,459	283,041
経常利益	1,411,142	407,709	2,650,424
特別利益	9,112	1,946	15,511
特別損失	53,660	166,921	115,317
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,366,594	242,735	2,550,619
法人税、住民税 及び事業税	589,913	127,130	1,036,675
法人税等調整額	22,793	13,516	△ 11,184
四半期(当期)純利益	753,887	102,088	1,525,128

第2四半期連結累計期間キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	前第2四半期 累計期間 2007年4月1日から 2007年9月30日まで	当第2四半期 累計期間 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	前期 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,279,422	1,458,430	2,337,859
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,786,234	△ 1,837,196	△ 2,805,220
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 107,445	1,093,131	56,732
現金及び現金同等物に 係る換算差額	28,619	4,528	16,743
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 585,638	718,894	△ 393,884
現金及び現金同等物の 期首残高	2,878,587	2,484,703	2,878,587
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	2,292,948	3,203,597	2,484,703

## 会社概要 (2008年9月30日現在)

- 商号 朝日工業株式会社
- 所在地 〒170-6049  
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号  
サンシャイン60 49階
- 創立 1935年8月16日
- 設立 1991年10月29日
- 資本金 2,190百万円
- 従業員数 399名(グループ528名)

### ●事業所

- 本社 〒170-6049  
東京都豊島区東池袋3-1-1  
サンシャイン60 49F  
TEL (03) 3987-2161
- 埼玉事業所 〒367-0394  
埼玉県児玉郡神川町渡瀬222  
TEL (0274) 52-2711
- 埼玉工場(鉄鋼) 〒367-0394  
埼玉県児玉郡神川町渡瀬222  
TEL (0274) 52-2713
- 関東工場(肥料) 〒367-0394  
埼玉県児玉郡神川町渡瀬222  
TEL (0274) 52-2712
- 千葉工場(肥料) 〒289-0506  
千葉県旭市さくら台1-13  
TEL (0479) 68-1600
- 大阪事業所(肥料) 〒530-0047  
大阪府大阪市北区西天満1-2-5  
大阪JAビル  
TEL (06) 6311-6215
- 関西工場(肥料) 〒528-0005  
滋賀県甲賀市水口町水口6776  
TEL (0748) 62-8171
- 生物学研究所 〒367-0394  
埼玉県児玉郡神川町渡瀬222  
TEL (0274) 52-6339
- 農業相談室 〒367-0394  
埼玉県児玉郡神川町渡瀬222  
TEL (0274) 52-6462



埼玉事業所



千葉工場



関西工場

### ●取締役および監査役

- |         |      |       |      |
|---------|------|-------|------|
| 代表取締役社長 | 赤松清茂 | 取締役   | 寺井淳  |
| 常務取締役   | 佐藤邦彦 | 取締役   | 広瀬清  |
| 常務取締役   | 中村紀之 | 常勤監査役 | 近藤憲二 |
| 常務取締役   | 町田尚輝 | 常勤監査役 | 鈴木幸夫 |
| 常務取締役   | 有村正史 | 監査役   | 村田恒  |
| 取締役     | 飯島功  | 監査役   | 阿部進  |
| 取締役     | 大島秀嗣 |       |      |

### ●関係会社

株式会社環境科学コーポレーション  
〒170-0013  
東京都豊島区東池袋3-23-13  
池袋KSビル  
TEL (03) 3987-2182

上武エコ・クリーン株式会社  
〒369-1623  
埼玉県秩父郡皆野町大字大淵126-2  
TEL (0494) 62-0522

上武産業株式会社  
〒369-1601  
埼玉県秩父郡皆野町大字金沢3092-1  
TEL (0494) 62-1321

株式会社ティ・アンド・アイ  
〒367-0301  
埼玉県児玉郡神川町渡瀬222  
TEL (0274) 52-6411

ASAHI INDUSTRIES AUSTRALIA PTY. LTD.  
A.C.N. 070 911 036  
C/O PRICEWATERHOUSECOOPERS  
FRESHWATER PLACE, 2 SOUTHBANK BLVD.  
SOUTHBANK, VIC 3006, AUSTRALIA  
TEL (03) 8603-1000

## 株式の状況 (2008年9月30日現在)

発行可能株式総数 240,000株  
発行済株式の総数(自己株式2,000株を含む) 72,000株  
株主数 3,447名  
大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
阪和興業株式会社	6,000株	8.6%
三井物産株式会社	6,000株	8.6%
アサガミ株式会社	3,000株	4.3%
伊藤忠メタルズ株式会社	3,000株	4.3%
コープケミカル株式会社	3,000株	4.3%
株式会社メタルワン	3,000株	4.3%
農林中央金庫	2,100株	3.0%
日本マタイ株式会社	1,810株	2.6%
伊藤忠丸紅テクノスチール株式会社	1,800株	2.6%
カネヒラ鉄鋼株式会社	1,800株	2.6%

(注) 議決権比率については、自己株式(2,000株)を控除して計算しております。  
議決権比率については、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

### 株主メモ

- 事業年度** 4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会** 6月
- 基準日** 定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日
- 公告の方法** 電子公告により下記当社ホームページに掲載いたします。  
<http://www.asahi-kg.co.jp>  
ただし事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株式の名義書換**
- 株主名簿管理人** 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所** 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社 本店
- 同事務取扱所** 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-78-2031  
(フリーダイヤル)
- 同取次所** 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

### 株主優待制度のご案内

毎年3月31日現在の株主さまに対してはお米券(1枚440円相当)を送付させていただきます。

1株	4枚
2株	8枚
3~4株	12枚
5株以上	16枚



- 株券電子化実施後の手続のお申出先について**
- 2009年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施されます。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。
- 株券電子化後の未払配当金の支払のお申出先  
これまでどおり、株主名簿管理人にお申出ください。
  - 株券電子化後の住所変更、配当金受取方法の指定等のお申出先  
①証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられている株主様：お取引証券会社等  
②証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主様：特別口座を開設する下記口座管理機関
- なお、②に該当される株主様につきましては、証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めまして、お申出を受理することができず、特別口座に記録される予定日であります2009年1月26日(月曜日)からとなりますのでご了承ください。
- 記
- ・口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
  - ・同取次所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)  
中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
- 株券電子化実施後の配当金受取方法のお取扱いについて**
- 株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくは、お取引証券会社等にお問合せください。